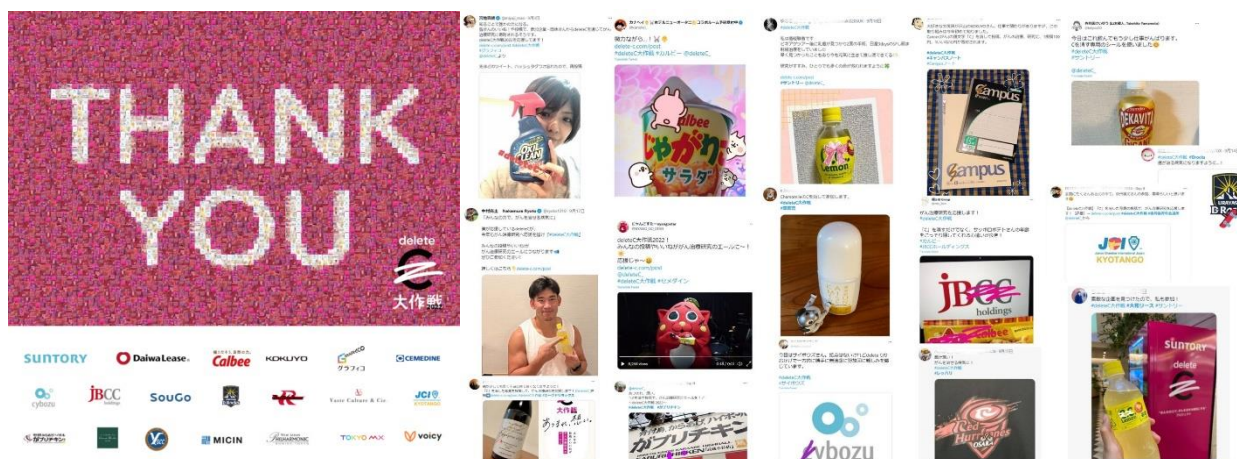


2022年10月3日
認定NPO法人 deleteC

みんなの力で、がんを治せる病気にするプロジェクト deleteC、9月「#deleteC 大作戦」にて 12,593,440 円の寄付あつまる

SNSの投稿と拡散ががん治療研究へのエールに
投稿数 27,110 件・リアクション数 982,124 回

認定NPO法人 deleteC(デリート・シー/代表理事:小国士朗)は、2022年9月3日から9月30日に実施した「#deleteC 大作戦」において、投稿数 27,110 件・リアクション数 982,124 回、寄付総額 12,593,440 円(前年比 180%)が、がん治療研究への寄付・啓発費用としてあつまったことをご報告いたします。



「#deleteC 大作戦」とは、deleteCが毎年9月のがん征圧月間をがん治療研究の啓発の強化月間とし、SNS上で、参加企業の商品やロゴのCの文字を消した投稿・拡散することで、がん治療研究への応援に繋がる取り組みで、2020年9月に開始し、3度目の開催となりました。「あつまれ、想い」をスローガンに掲げ、21企業・団体が参加しました。開始日には、オンライン配信「deleteC 大作戦会議」を実施、配信後には、「がん治療研究」という言葉がTwitterのトレンドワードにランクインするなどタイムライン上に投稿が溢れました。

今回、新たな取り組みとして、京丹後青年会議所の中学生やクラーク記念国際高等学校の高校生もこの活動を広めるため、アイデアを出し合い、参加しました。参加した学生は「医療者や研究者でない、私にもできること」と語り、幅広い層への広がりを実感いたしました。また、メディア横断連携として、東京メトロポリタンテレビジョン(TOKYO MX)の番組や音声メディア Voicy を通じた発信も実現しました。

このほか、SNS投稿以外にもがん治療研究啓発を目的に、最前線で活躍する医師・研究者や deleteC HOPE 受賞者、がん経験者とともにがん治療研究をわかりやすく発信する TwitterSpaces 企画「みんなで知ろう!がん治療研究」の配信やJ3リーグ公式戦 Y.S.C.C.横浜 の試合内での「deleteC マッチ」の実施、15名のコピーライター有志が言葉でエールを贈る€copywriter 企画や参加企業の取り組みをさらに盛り上げる deleteC チャレンジの実施、医師・研究者のがん治療研究への想い whydeleteC のコンテンツ化のほか、9月29日、30日には、TwitterSpaces 企画「#deleteC 大作戦 みんなの力で、とどけナイト」と題して、deleteC アンバサダーをはじめ、アスリートや企業経営者・担当者、俳優、芸人、番組担当者、デザイナー、クリエイター、作家、中学生、医師・研究者など様々な方をお招きし、#deleteC 大作戦を振り返り、がん治療研究への応援を呼びかけました。

(#deleteC 大作戦 特設HP 参考 <https://www.delete-c.com/post>)

deleteC は、がんを治せる病気にする日を一日も早くたぐりよせるため、ふだんの暮らしの中でがん治療研究を応援できる仕組みをつくり、この取り組みを広く根付かせ、deleteC を文化にすることを目指します。

あつまった想いと寄付は、deleteC の医療公募・選考会を経た2名の医師・研究者にお届けします。寄付先の発表は2023年1月29日に開催する「deleteC 2023 -HOPE-」を予定しております。改めてご報告申し上げます。

「#deleteC 大作戦」のSNS投稿に寄せられた想い

- ・がんが治せる病気になりますように。悲しまない未来に繋がる、一つ一つのエールが届き、実りますように
- ・一つ一つの SNS 投稿の『ちりつも』。本当に『みんなの力で』なんだな～
- ・治療法がある 治療薬がある。それがガンと戦う希望になる。ガンを治せる病気に…。少しでも自分にできることを…。想いものせて
- ・私もやってみよう。ほんのほんの小さな一粒だけど…。集まればすごい力になるよね
- ・私が研究で今すぐいのちを守る発見はできなくても、
がん治療研究の応援なら私だからこそできる！誰かのいのちを守るために、私たちにできること。
- ・私には何のちからもないけど、つらい想いをしている人がいつかなくなることを。
毎日心から祈って。出来ることはする。がん治療研究を応援します！
- ・がん医療が進み、寛解された方々の再発の可能性がより低くなる事はもちろん、がんと共に生きていかれる方々もより充実した生活を過ごしていける未来が、少しずつでも、着実に来ることを願って
- ・がんになったあとでデザイナーになった。がんになってもデザイナーになれるし、パワポでも C は消せる。
- ・deleteC は普段馴染みのあるメーカーさんの商品を買ったり見たりするだけで貢献できるという、簡単だけどしっかり伝えられる仕組みが素晴らしいと思いました

deleteC 代表理事 小国士朗よりメッセージ

9月と言えば、deleteC。

9月と言えば、C を消すんだよね。

がん治療研究への応援が、ハロウィンやクリスマスやバレンタインのような“文化”になったらステキだよー。そんな想いから、2020年9月に deleteC 大作戦は始まりました。

今年で3回目となったわけですが、投稿数 27,110、
寄付額 12,593,440 円も過去2回を大幅に上回る最高の結果となりました。

これは deleteC 大作戦に参加をくださった 21 社の企業団体のみなさまの想い、そして、
毎日たくさん投稿をくださったおひとりおひとりの想いが重なった結果生まれたものです。

改めて、参加してくださったみなさまに心からの御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

毎日たくさんの投稿が SNS にあふれていました。読んでいて、
ほっこり笑顔になったり、胸が熱くなったり、本当にどれもステキなものばかりでした。
そんな中、「微力ながら」とか「少しでも」という言葉がたくさん書かれていることに気づきました。

ある夜、deleteC の公式アカウントの中の方が、こうつぶやきました。

「微力ながら」「少しでも」と添えてくれる優しい言葉。

その投稿、100 円の寄付になってます。

小さくないです。大きな力です。

本当にそうなんです。

ひとつひとつの投稿、ひとりひとりの想い、それは決して小さくないんですよ。

deleteC が掲げるのは「みんなの力で、がんを治せる病気にする」という言葉です。

ひとりひとりの力は決して小さくありません。

そして、それらが集まって「みんなの力」になったとき、それはとんでもないパワーになります。

過去最高の結果となった今年の deleteC 大作戦を振り返って、改めてそのことを確信することができました。

さあ、次は 2023 年 1 月 29 日の「deleteC 2023 -HOPE-」です。

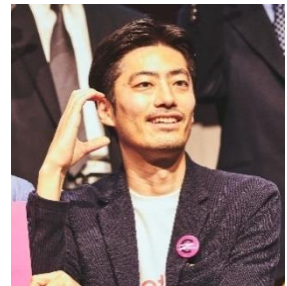
deleteC 大作戦で集まった想いと寄付を、2名の素晴らしい医師・研究者にお届けします。

そして、今年 9 月に認定 NPO 法人となった新生 deleteC が描く“エソラゴト”を、
みなさまにお披露目することもできたらと思っています。

あかるく、かるく、やわらかく

変わる事のない deleteC らしさを大切に、
これからもみなさまとともに歩んでいけたら幸いです。

2022 年 10 月 3 日
認定 NPO 法人 deleteC
代表理事 小国士朗



deleteC について

deleteC は、がんを治せる病気にしたい、という想いのもと2019年2月に発足しました。日本では、毎年 100 万人以上が新たにがん罹患し、生涯 2 人に 1 人はがんにかかる※1とされています。日本国内をはじめ、世界の研究者達が日々研究を続けています。deleteC は、個人、企業、組織、世代などの立場を越え、がんを治せる病気にしたい、という想いを自由に意思表示し、ふだんの暮らしの中で、誰もががん治療研究をできる仕組みをつくります。

そして、数年後、10 年後の未来を変えるがん治療研究という「希望の種」を応援し、1 日でも早く「がんを治せる病気にする日」を手繰り寄せることに貢献します。

deleteC は、9月22日に東京都からの認定をうけ、「認定NPO 法人」へと変更いたしました。(認定番号「4生都管第 703 号」)

※1 「最新がん統計」国立研究開発法人国立がん研究センター

https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/summary.html

具体的には、プロジェクトに参加する企業・団体・個人が自身のブランドロゴや商品、またはサービス名から Cancer の頭文字である「C」の文字を消したり、deleteC のロゴやコンセプトカラーを使うなどしたオリジナル商品・サービスを制作・販売・提供します。購入金額の一部は deleteC を通じて、医師・研究者が推進するがん治療研究に寄付(※2)されます。

毎年 9 月には「#deleteC 大作戦」と題し、SNS 投稿・拡散が寄付に繋がる啓発の取り組みを実施し、毎年 1 月末にワールドキャンサーデーに先駆けて開催する「deleteC -HOPE-」にて、がん治療研究を推し進める医師・研究者に寄付をお渡しします。2022 年は、新たにかん治療研究をさまざまな形で応援する「推し研！」コンセプトも発表しました。

寄付先となるがん治療研究については、公募を実施し、がん臨床試験の専門的知見を有する医師のほか、プロジェクト参加企業、deleteC 医療リサーチチームといった多様な視点を持つメンバーで選考委員会を構成し、公正なる審査のもと、寄付先を決定します。選出したテーマの動画・プレゼン資料などの情報コンテンツを制作・発表し、deleteC がさまざまなメディアを通して幅広く情報発信します。現在は、参加企業 100 社、寄付者 5,500 名を超える方々に支持されており、これまでに 6 名の医師・研究者を支援しています。

(※2) 寄付金は、がん治療研究及び、啓発コンテンツ制作費など deleteC の活動に充てられます。

「誰もが参加できる」カジュアルソーシャルアクションを通して寄付・発信を行い、がん治療研究を応援



【法人概要】

団体名 : 認定特定非営利活動法人 deleteC (2022 年9月22日交付・認定番号4生都管第 703 号)
 設立 : 2019 年9月5日
 代表 : 代表理事 小国士朗
 事業内容:(1)ロゴ等を活用したがん啓発事業(2)がん啓発イベント事業(3)がん医学研究に対する寄付・助成事業
 (4)がん医学研究に関する事業提供・啓発事業(5)その他その目的を達成するために必要な事業

支援の方法 : <https://www.delete-c.com/support>

HP : <https://www.delete-c.com/>

Twitter : @deleteC_

Instagram : @project_deletec

Facebook : <https://www.facebook.com/deleteCproject/>

YouTube : <https://www.youtube.com/channel/UChzpGUd7Gz0EGkhpXgy7wJg>

note : <https://note.com/deletec/>

Voicy +deleteC チャンネル : <https://voicy.jp/channel/3128>